

分野	補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築			
市町村名	富士見町	ふりがな箇所名	(一)富士見高原線		しもつたき下鳥木	事業年度(完了年度は見込み)	H25年度～	H27年度	
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	全体	待避所設置工 L=150m W=5.5(7.0)m			40,000	国庫	その他	県債	一般財源
	H25年度	測量設計、用地測量 1式			10,000			9,000	1,000
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価			ランク	評点	
	必要性 (30)	計画交通量	<input type="checkbox"/> 4,000台/日以上	<input type="checkbox"/> 1,500台以上～10,000台/日未満	<input checked="" type="checkbox"/> 1,500台未満	C	0		
		代替道路	<input type="checkbox"/> 唯一の道路である	<input checked="" type="checkbox"/> 代替となる道路がある					
		ネットワーク(道路網)	<input type="checkbox"/> バス路線である	<input type="checkbox"/> B 駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	<input checked="" type="checkbox"/> A及びBに該当しない				
			<input checked="" type="checkbox"/> ボトルネック箇所	<input type="checkbox"/> ボトルネック箇所でない					
		各事業特有の必要性(安全の確保)	<input checked="" type="checkbox"/> 観光地に通じる道路	<input type="checkbox"/> 観光地に通じる道路ではない					
			<input checked="" type="checkbox"/> 4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/> 4.0m以上5.5m未満(幅員)	<input type="checkbox"/> 5.5m以上(幅員)				
		<input type="checkbox"/> 自動車と自転車・歩行者との分離を図る	<input type="checkbox"/> 歩道はあるが不十分であるものを再整備	<input checked="" type="checkbox"/> 自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない					
	他事業との関連	<input type="checkbox"/> 河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施			0				
	小計						12		
重要性 (10)	設計上の環境・景観配慮	<input checked="" type="checkbox"/> 環境・景観配慮がされ確実性が高い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮がされているが確実性が低い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮をしていない	A	5			
	地域の法的な位置付け	<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)に位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光圏整備実施計画認定地域に位置付けられている	<input type="checkbox"/> 特別な位置づけはない		3			
小計						8			
効率性 (20)	費用対効果	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0以上	<input checked="" type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が得られる)	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満	A	3			
	事業効果の早期発現(H25以降残事業年数)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業年数 3年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 4年～5年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 6年以上		8			
	コスト縮減	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input type="checkbox"/> 部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input type="checkbox"/> コスト縮減はしていない		7			
小計						18			
緊急性 (20)	安全性の向上	<input checked="" type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険がない	B	10			
	各事業特有の緊急性(医療・福祉)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	<input checked="" type="checkbox"/> 医療・福祉の連携に関係ない道路		0			
小計						10			
計画 熟度 (20)	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の内発的な要望が強い	<input type="checkbox"/> 市町村からの要望	<input type="checkbox"/> 特に要望がない	A	7			
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/> 関係者以外に広く周知	<input checked="" type="checkbox"/> 関係者中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知していない		5			
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/> 住民が計画策定に直接参加	<input checked="" type="checkbox"/> 住民や市町村の意見を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映していない		4			
	小計						16		
費用対効果(B/C)		0.1	評価の合計			B	64		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	一般県道富士見高原線は国道20号と富士見高原を結ぶ路線であり、下鳥木集落、田端集落が利用する生活路線にもなっている。該当区間の大半が幅員4.0mに満たない路線であり対面通行ができない。また法面の勾配が大きく不安定であるため、早期事業化が望まれている。							
	地域からの要望経緯	平成18年度から富士見町、下鳥木区から強い要望あり。							
	事業説明等の経緯	平成24年度現地調査にあたり、関係者中心に説明。							
	環境・景観への配慮項目	対象区域周辺の緑化等、環境への配慮を検討したい。							
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。							
	特記事項	町役場と連携し、住民の意見を聞きながら計画策定していきたい。							
地域の合意形成		<input type="checkbox"/> 全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明				
部意見	生活道路としての安全確保を図る。また、地域からも強い要望があることから事業化したい。			行政改革課意見	重要性が認められる。				